



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社進学会ホールディングス  
代表者名 代表取締役COO 松田 啓  
(コード番号 9760 東証スタンダード)  
問合せ先 代表取締役CFO 平井 将浩  
(TEL 011-863-5557)

### 第2四半期業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表した2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値の差

(2022年4月1日～2022年9月30日)

[単位百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	3,200	△240	△130	△250	△13.62
今回実績値 (B)	3,436	△755	△727	△729	△40.42
増減額 (B-A)	236	△515	△597	△479	
増減率 (%)	7.4	—	—	—	
(参考) 前期第2四 半期実績 (2022年 3月期第2四半期)	7,552	△5,426	△5,385	△5,538	△293.22

#### 2. 2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

[単位百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	7,200	70	140	60	3.27
今回修正予想 (B)	7,400	△970	△930	△930	△51.55
増減額 (B-A)	200	△1,040	△1,070	△990	
増減率 (%)	2.7	—	—	—	
(参考) 前通期実績 (2022年3月期)	13,847	△9,572	△9,509	△5,753	△313.57

### 3. 差異が生じた理由および修正の理由

#### ① 第2四半期業績予想に関して

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・賃貸事業）におきましては、教育事業での新学期生徒数を鑑みて第2四半期連結累計期間において、売上高 1,400 百万円、営業利益△340 百万円、経常利益△230 百万円、当期純利益△350 百万円として半期の計画を立てておりました。

・投資部門におきまして、当初計画していました第2四半期連結累計期間に売上高 1,800 百万円、利益に関しましては黒字への転換を目標に、営業利益 100 百万円、経常利益 100 百万円、当期純利益 100 百万円として計画をしておりました。

上記2つを合算し、2023年3月期第2四半期業績予想を売上高 3,200 百万円、営業利益△240 百万円、経常利益△130 百万円、四半期純利益△250 百万円といたしました。

#### ② 差異が生じた理由

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・賃貸事業）におきまして、第2四半期連結累計期間の売上高が 1,392 百万円とほぼ計画どおりとなりました。利益につきましては、学習塾の会場統合及び講師数コントロールによる経費削減効果により、営業利益△151 百万円、経常利益△123 百万円、四半期純利益△121 百万円となり、計画を上回る数字となりました。

・投資部門におきまして、第2四半期連結累計期間の売上高が 2,043 百万円と計画の 1,800 百万円を 243 百万円上回りました。また、利益に関しては、10月3日に開示した「連結子会社の保有する有価証券の評価損発生に関するお知らせ」のとおり、当社子会社 SG 総研において、6月中旬までは黒字に転じておりましたが、6月末及び9月末の株価の続落により、第2四半期までの累計で△602 百万円の有価証券評価損を計上いたしました。結果、投資部門の営業利益△604 百万円、経常利益△603 百万円、四半期純利益△608 百万円と計画を下回るものとなりました。

上記2つを合算し、2023年3月期第2四半期連結累計期間の売上高 3,436 百万円、営業利益△755 百万円、経常利益△727 百万円、四半期純利益△729 百万円となりました。

#### ③ 通期業績予想修正に関して

・投資部門以外（教育事業・スポーツ事業・物販事業・賃貸事業）におきましては、教育事業において、個別指導部門の生徒数が堅調に推移していることから、今後の受験学年での講座セット率の向上による売上伸長が見込まれます。また、スポーツ事業においては新規会員の入会数が昨年を上回ってきております。これらのことから、通期で売上高 3,200 百万円、営業利益は 30 百万円を見込んでおります。

・投資部門におきまして、通期売上高 4,200 百万円を計画しております。また利益に関しましては上期で△604 百万円となり、下期においても現在のトレンドが継続した場合同等の損失となるリスクが考えられますが、アメリカの消費動向が下がる傾向にあり、金利の上がり方が穏やかになりつつある中、株価動向に反映されると考え下期においては△400 百万円以内の営業損失と予想していることから、通期での営業利益 △1,004 百万円を見込んでおります。

上記 2 つを合算し、2023 年 3 月期 通期業績予想は売上高 7,400 百万円、営業利益△970 百万円、経常利益△930 百万円、四半期純利益△930 百万円となっております。

※上記に記載した業績予想は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。